



Exploring Creative
and
High Quality
Manufacturing

産業用商品群と方針

LED表示灯から生まれた発想で 産業機器分野を拡大

株式会社 日恵製作所

事業内容と沿革

遊技向けで始まった LED機器の可能性

昭和56年4月、東大阪において、電気機械器具の製造販売を目的として創業した。昭和57年1月、工場を門真市に移転。創業当時から遊技用LED（発光ダイオード）表示灯を中心に、製造販売してきた。昭和59年には自動販売機の電装品を製造開始し、翌年には初めて自社ブランド商品となった点滅表示灯「ウィンキー」を発売した。そして、平成9年8月、大阪府門真市桑才新町へ本社工場を移転し、現在に至る。

創業当時から引き継ぐLED製品のノウハウを活用して、今では主に産業機器分野向けに年間約3,000種の製品を取り扱う。取引先は、電設資材商社をはじめ、JRなどの鉄道会社や高速道路会社、医療機器メーカー、自動車メーカーなど多岐にわたり、インフラ整備事業等の工事現場への納入は、創業年に旧国鉄保線区の舗装装置や保線機械の保守業務を受託して以来長い経験を持つ。

平成15年に、プリズムを使用したLEDモーターレス回転灯「ニコフラッシュ」を開発して以降、産業機器分野に参入した。それ以降、高速道路の建設工事での注意喚起から駐車場の昇降機の作動注意としてLED表示灯を受注してきた。近年では車載用のLED警告灯や、太陽光発電を利用した表示灯も製作する。

強み

技術革新へつながるものづくり

創業以来培ってきた知識と技術をコアに、LED照明をベースとした製品を規格から製造まで一貫して手がける。LED回転灯やソーラーパネルを使用した照明など産業用製品を主力に展開する。これまで主に遊技用照明を手がけ、全国のパチンコ店へ納入してきた。機能を応用して技術革新を積み重ね、電飾から車載用警告灯、自社製品の呼び出しランプまで幅広い分野に進出し、改良を重ねてきた。

恩田 恵 社長が語る「顧客のニーズに合わせて試作品を提案・提供し、そうした積み重ねが新製品の開発から納得のいく成約に繋がった」という姿勢で、「小さな技術革新」を日々遂げてきた。先行メーカーに対する強みとしては、「LED照明に付帯する装置設計」にある。LEDは省電力に優れているが、コンデンサーなどの部品が支える装置全体の耐久性を上げなければ製品としての寿命は変わらない。企画、設計から長いもので5年前後かけて発売にこぎ着けたものもある。製品の性能と市場のリスクを検討しながら顧客のニーズに忠実に応える。安全・安心の提供、環境に配慮した「ものづくり=Create」と「技術革新=Innovate」の実現を目指す。



本社



製造ライン



産業・車載商品

企画・提案

試作・受託

オンリーワン

カドマイスターの取り組み

電飾機器の性能向上

現在、主力製品の1つであるLED回転灯は、省エネ効果を高めた。従来、技術では電球を発光させて、その周りにモーターを使用して反射板を回転させていた。これに対し、LED回転灯では、LEDを円状に配列し、電子制御で順次点灯・点滅させる。この発光する位置が回転するように見える流動駆動方式を採用することにより、電球の交換が不要で、消耗部品であるモーターも使用せず、長寿命で静かな環境に優しい製品を提供している。

LED回転灯の応用と新技術の搭載

LED回転灯には高輝度のパワーLEDを搭載し、昼間でもおよそ1km遠方から確認できる。高速道路や工事現場などから発信する安全確保のための警報灯（電子発炎筒）や、ソーラーエネルギーを利用したLED簡易照明は、国土交通省の認定制度「NETIS（新技術情報提供システム）」の登録も受けた。

さらに、平成28年秋より、無線通信で光の色や回転を遠隔から制御する技術も回転灯に搭載を開始した。同技術を生かし、今後は防災分野へも販路を拡大する。

LED流動駆動方式をいち早く採用、
日々の技術革新で販路拡大を目指す



代表取締役
めくむ
恩田 恵 さん

電飾市場においてLED（発光ダイオード）化が進む一方で、車両、防災、FA（工場自動化）用の表示などでは、まだ電球が多く使用されています。当社は開発当初より、警告灯や表示灯はLED化、回転灯ではモーターを使用しない電子回路でのLED流動駆動方式を採用してきました。最近ではLED製品を、より明るく視認性を高めるため、ハイパワーのLEDを使用した超高輝度化を進めています。また、警告灯や表示灯に無線技術を取り入れたシステムの構築、開発にも取り組んでいます。

主な事業内容

LEDの警告灯・照明灯や遊技分野の電飾灯などの開発

主な取引先（納入先）

電設商社、鉄道会社

【住 所】〒571-0043 大阪府門真市桑才新町33-9
【TEL】06-6908-6930
【FAX】06-6908-9865
【創 業】昭和56年4月【設 立】昭和56年4月
【資本金】4,800万円 【従業員】81名

今後の展開

大手企業との直接取引で ビジネスチャンス拡大

現在は、遊技分野向け製品が約70%、産業分野向け製品が約30%を占めている。しかし遊技製品市場は右肩下がり傾向があり、比重の変更を計画している。遊技分野の比率を3年間で約50%まで下げるとともに、中長期的にはLED回転灯やソーラーパネル搭載の照明など産業分野の比率を50%以上へ拡大する。特に車載用警告灯分野へ注力するとともに、海外協力会社と連携を強化して産業分野市場を開拓する。

現在は主に代理店を経由して製品を販売しているが、上場大手企業などとの直接取引を進める。例えば、鉄道会社向けにはホームドアに取り付ける注意喚起ライト「ニコアラート」を平成29年9月に発売。側面の輝度を高めて運転手や車掌への注意効果を高め、年間約3,000個の販売を目標とする。高速道路会社向けには、工事中の看板表示や逆走防止喚起などでの活用を目指す。さらに河川へは水位センサーと連動し、川の氾濫レベルに応じた無線信号を受けてライトを点灯するなど、注意を促し防災へつなげる事業へも展開する。

<http://www.nikkei-mfg.co.jp/>

